

令和7年度 全国学力・学習状況調査の本校の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より山の手南小学校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年、4月17日（木）に全国の小学6年生と中学3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が行われました。「教科に関する調査結果」と「児童生徒質問紙調査結果」について、本校6年生の状況をお知らせいたします。

今回の結果を分析・検証し、今後の学習・生活指導に生かしてまいります。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに十分ご注意ください。保護者の皆様におかれましても、お子さんのこれからの学習や生活の充実のための参考にしていただきたくお願い申し上げます。

国 語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【話すこと・聞くこと】 全国平均を上回っている。	▲ 目的や意図に応じて、日常生活の中から集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。	・ 自分が知っていることや予想したこと、疑問に感じていることなどを聞く目的や意図に応じて、内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けたり関係を明確したりすることができるよう指導を工夫する。
【書くこと】 全国平均を上回っている。	▲ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。	・ 取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返る場面や、事実と考えとの関係を明確にできているかを確かめる場面を設定する。
【読むこと】 全国平均を上回っている。	▲ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握する。	・ 要旨を把握するためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、文章全体の構成を捉えることが重要なため、筆者の考えを自分の言葉で短くまとめるなどの活動を充実させる。
【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国平均を上回っている。		・ 今後も、全ての教育活動において言語活動を充実させる。

【児童質問調査結果から】

- ▲ 毎日、同じくらいの時刻に起床、就寝していない児童の割合が、全国よりも高い。
- ▲ 普段（月～金曜日）、1日当たり4時間以上、テレビゲーム（パソコンやスマホを使ったゲームも含む）をしたり、SNSや動画視聴をしたりする児童の割合が、全国よりも高い。
- 「携帯電話・スマホ・パソコンの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と肯定的な回答をした児童の割合が、全国よりも高い。
- ▲ 放課後や週末に、家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりする児童の割合が、全国同様に高い。
- ▲ 土、日曜日など学校が休みの日に、全く勉強しない児童の割合が、全国よりも高い。
- 家に本（雑誌、新聞、教科書を除く）が100冊以上ある家庭の割合が全国よりも高い。
- ▲ 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることに課題がある。

算 数

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【数と計算】 全国平均よりも上回っているが、全国同様、正答率が低いものもある。	▲ 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する。 ▲ 数直線上で、1 の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える。	- 既習の整数の加法を生かせるよう、分数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目する場を設定したり、文章で説明したりする場を設定する。 - 数直線上の目盛りを分数で表す活動を充実させる。
【図形】 全国平均を上回っている。	▲ 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述する。	既習内容を活用することで見通しをもって解決できるよう関わる。また、どの図形の構成要素を捉えて面積を求めたのか、式や言葉を用いて自分の考えを記述し、説明する場を設定する。
【変化と関係】 全国平均を上回っている。	▲ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する。	基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を捉える学習活動を設定する。
【データの活用】 全国平均を上回っているが、全国同様、正答率が低いものもある。	▲ 目的に応じて適切なグラフを選択して、データの変化を適切に捉えて、その理由を言葉や数を用いて記述する。	様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて複数のグラフから適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を記述し、他者に分かりやすく表現できるように指導を工夫する。

理 科

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【物質・エネルギー】 全国平均を上回っているが、全国同様、正答率が低いものもある。	▲ 身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられるものがあることの知識が身に付いている。 ▲ 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現する。 ▲ 水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する。	- 物質の性質について理解を深められるよう、それぞれの内容で習得した知識を整理してまとめるなどし、知識を相互に関連付ける活動を設定する。 - ものづくりの活動では、子どもたちが明確な目的を設定し、設定した目的を達成できているかを振り返り、修正するといった活動の充実を図る。 - 問題解決の様々な場面で、計画した実験が予想を確かめられるのかについて検討したり、改善したりする学習活動を充実させる。
【生命・地球】 全国平均を上回っているが、全国同様、正答率が低いものもある。	▲ 差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する。	具体的な条件に着目できるように、植物の成長に関する既習の内容や生活の場面と関係付けて、問題を見だし、それを適切に表現できるよう、指導を工夫する。